

令和5年度 第2回 子ども部会議事録

令和5年6月29日  
市役所705会議室

1. 放課後等デイサービス事業所部会（準備会）より
2. 研修会開催に向けて
3. 各施設状況

（欠席：スポーツ協会斎藤委員 子ども家庭支援センター斎藤委員）

1. 放課後等デイサービス事業所部会（準備会）より

\* 敬称略

有馬：斎藤委員欠席の為、研修会に関して希望等があれば伝えることとする。また当初の議題になかったが放課後等デイサービス事業所部会（準備会）について小柴委員より報告頂く。

小柴：清瀬特別支援学校移転に伴い、放デイ事業所としていくつか心配事がある。現在、学校とやりとりをしている状況。

有馬：市内放デイ事業所で情報交換行っている。学校側の状況は何かわかるか？

西村：一教員として答えられない。

有馬：この場で検討ではなく、準備会の現状をお伝えした。

2. 研修会開催に向けて

宮澤：研修会について10月26日(木)午前9時～午後1時、市民プラザを押さえてある。内容が未定のため対象者や案内、ちらし、市報掲載等は今後進める。

有馬：内容について希望はあるか？制度内でサービスを使うことと同様に、家庭で過ごすことの重要性も伝わると良い。性教育を中心として家族の関わり方等の内容はどうか。

宮澤：子どもたちは月曜日から日曜日まで忙しい。通常級の子ども達も安心して過ごせる場所が少ない今、習い事等を詰め込まざるを得ない。放デイを使いすぎと思う反面、使わざるを得ない、安全に過ごせない社会の問題を痛感する。親の余裕も生まれにくい。また32名の園児のうち17名が年長であり、次年度の放デイ利用が予想される。

有馬：研修会は「性教育を中心に親の関わり方、親の役目」で斎藤委員と打ち合わせを行う。内容や人選は事務局に一任とする。

### 3. 各施設状況

堀野：感染症5類となり行事等を再開したところ。一方、第9派の懸念もある。

宮澤：夏祭り（夕涼み）の準備が進んでいるよう。

茂木：センターが事務局として準備をしている。但し、祭り経験職員が少なく担当者は苦慮している。昨年は第7派の影響で開催直前での中止を余儀なくされた。

白井：BCP、医療的ケア、重症児ケア、病院からの地域移行などを担当。不登校の増加などは家族の貧困や依存症、精神面での影響がありそうと感じる。

現在コロナ感染症について、保健所へ届出は65歳以上であり以前のような数字把握はしていない。入院調整も基本病院と患者さんとで行っている。

有馬：障害のある方のフォローはどうなっているか。

白井：最近ではコロナに限らない、不明熱が多い様子。

小柴：さんさんフェスティバル、ハロウィン、にぎやかカーニバルなど行事の在り方、進め方を検討。夕涼みと同様に、携わっていたスタッフが減少している点が課題。

西村：校舎移転は予定より工事が遅れている。当初の予定通り進んでいない中で、諸々検討している旨はご理解いただきたい。次年度の小1が多いが教室、運動場、駐車場などは十分なスペースをとっている。東村山福祉園が園舎建替えのため6~7月はショート受け入れがストップ。そのため困っている家庭がいくつかある。感染症について生徒が元気であれば登校を拒めない。マスクの着用や食事場面などできるだけの配慮をしている。

宮澤：年長児お泊り保育を2グループに分けて実施。昨年のような、お泊りより放デイを優先するケースはなかった。夏祭りは地域支援の一つであり大切にしたいが、飲食の制限など難しい。相談支援は抱えるケースが多く、かなり忙しい状況。親の中で児童発達を使わないと放デイを使えない、という噂が出回っているようである。

西村：正しくない情報は早めに訂正をしないと、ラインなどで広まるスピードが格段に速い。情報のコントロールがされないと不安を煽る結果になる。子ども達は忙しすぎる、家でゆっくり過ごせない、親に余裕がない、どう支えていくか大きなテーマである。

茂木：センターとして、わかくさ学園にて日中一時支援の説明を行った。未就学児の契約、登録は増加。必要な時に利用してほしいが、恒常的利用は子供が疲れ

ていること伝えている。一方、利用予定者の体調不良キャンセルが相次いだ。また中学生男子と母親の関係性により一時預かりを依頼されるが根本的な解決になっていない。

有馬：相談の中で、例えばダウン症の退行現象を親が受け止められない等、受容に時間を要する。安心できるようなアプローチが必要である。

堀野：当時は障害がいつか治ると思った時がある。

西村：放デイ事業所がこの10年間で増加、現在40団体が学校に出入りしている。掛け持ちのお子さんもいて、子供が主体でないと感じる。親の受け止め力も気になる。研修会はオンライン配信を試みている。

有馬：移動支援には1対1の、それぞれに合った支援ができる良さがある。子どもの気持ち、親の理解、覚悟などそれぞれを大事にしたい。

その他

クリスマスの行事、100名規模となると飲食が難しい。

徐々にノーマスクで支援するところもある。学校も場面によって感染対策を工夫している。

飲食場面のリスクに疑問を持っている。この間失ったものは大きいため経験や体験は大事にしたい。

徐々に戻していく方向がいいのではないか。

次回：9月に開催予定。詳細は後日連絡とする。